

サーモグラフィ CPA-ExA/ExXTシリーズ

簡易操作マニュアル



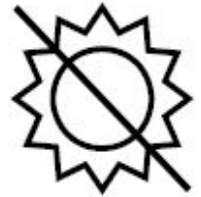
株式会社 **テック**

DATA : 2021.11.10

1. 太陽光、高出力レーザーなどにカメラを向けない。

高いエネルギー（太陽光、レーザーなど）がカメラに入光すると受光素子が焼付き・損傷する可能性があります。

素子焼けによるカメラの不具合については保証範囲外となりますのでご注意ください。



2. カメラを物に衝突させたり、落下させない。

カメラを持ち運んだり、使用する際には必ずストラップを利用してください。



3. レンズを直接手で触らない。

赤外線カメラはゲルマニウムレンズを使用しており、表面には特殊なコーティングをしています。強く擦るとレンズに傷がつく恐れがあります。クリーニングのやり過ぎにもご注意ください。

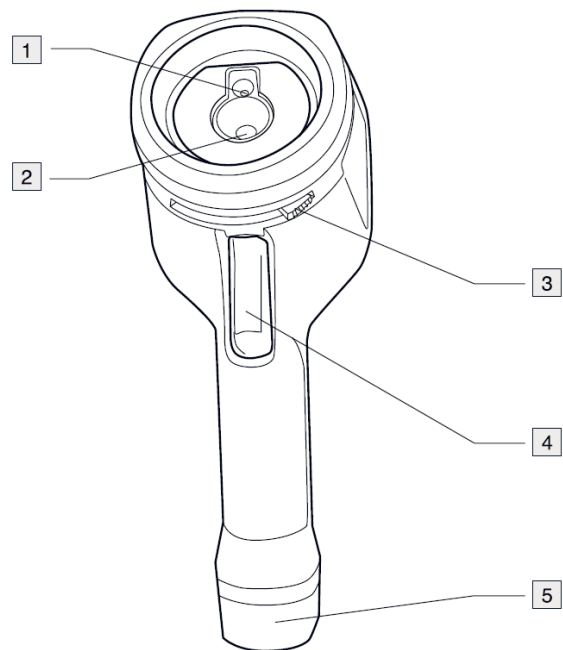


4. 測定時以外はレンズキャップを閉めておく。

不用意に高エネルギーが入射することを防ぎ、また、レンズに触ったり、ぶついたりすることからレンズを保護します。

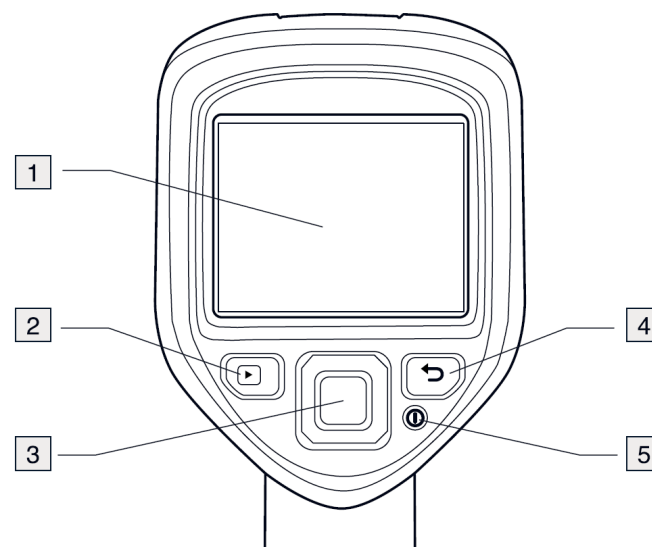
詳細については「ユーザーマニュアル」をご覧ください。

前面



1. デジタルカメラレンズ
2. サーマグラフィレンズ
3. レンズキャップの開閉用レバー
4. 画像保存用トリガー
5. バッテリ

背面

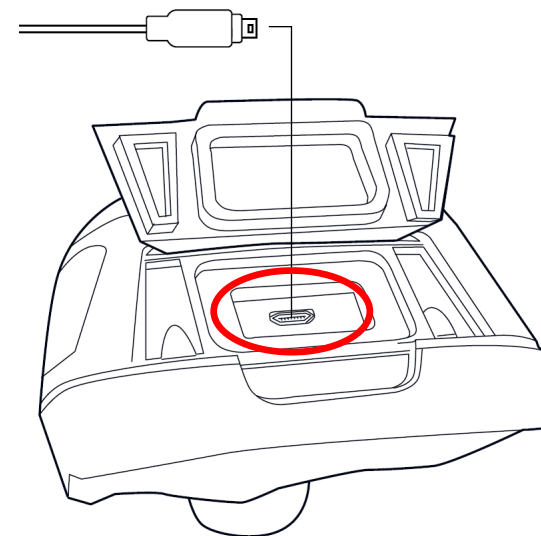


1. 液晶画面
2. アーカイブ（画像再生）ボタン
3. ナビゲーションパッド
 - ・ 上下左右でカーソル移動
 - ・ 中央部でメニュー決定
4. キャンセルボタン
5. 電源ボタン

はじめてカメラをお使いになる場合は、
使用前にバッテリーの充電を2時間行ってください。

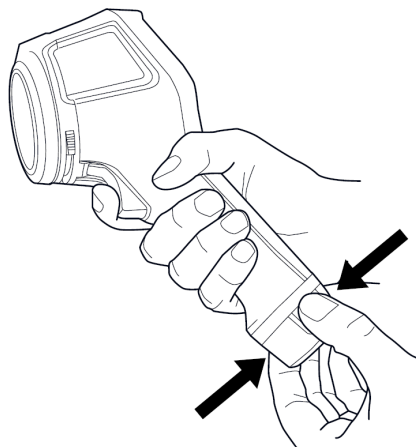
■ 充電方法

カメラ本体のMicro USBポートを使用し接続して充電します。



■ バッテリーの脱着

バッテリーを脱着する際はバッテリーのつまみ（下図矢印）を
指で挟んで持ち、挿入もしくは引抜きを行ってください。





カメラ起動

電源ボタンを押すと電源がONになり
カメラが起動します。

内部ソフトの起動に約1分かかります。

カメラ停止

電源ボタンを長押しすると電源がOFFに
なります。

液晶画面が消えるまでボタンを押して
ください（2~3秒）。



1. メインメニューツールバー
2. サブメニューツールバー
3. スポットメーター
4. 測定値
5. ステータスアイコン (バッテリー状態など)
6. 温度スケール

メニュー画面

ナビゲーションパッド (中央部) を押すとメニュー画面が展開します。



設定

測定パラメータ設定・温度レンジ変更など、各種の設定を行います



イメージモード

MSX・赤外線 (熱画像) ・デジタルカメラ・PinPの表示切替を行います



測定

スポット・エリアの温度計測ツールの切替を行います



カラー

カラーパレットの変更を行います。



温度スケール

温度スケールの調整方法 (自動・手動) の切替を行います

赤外線カメラは計測する対象物に合わせて適した温度レンジに設定する必要があります。

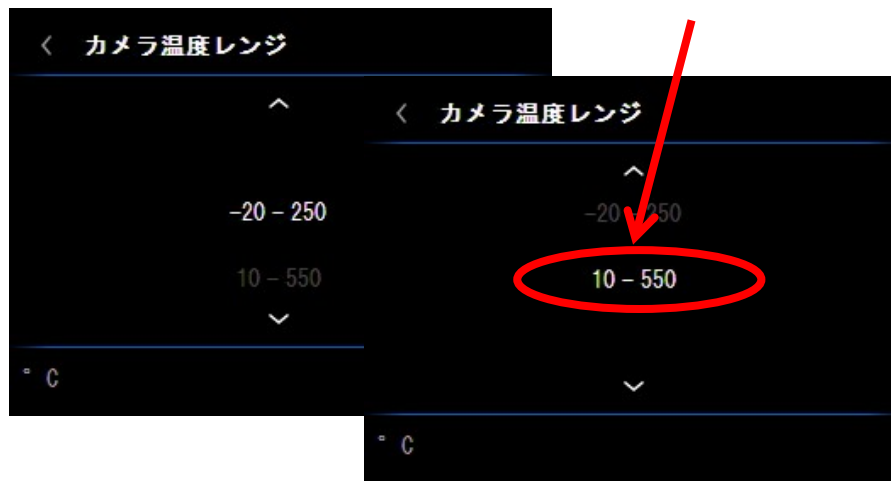
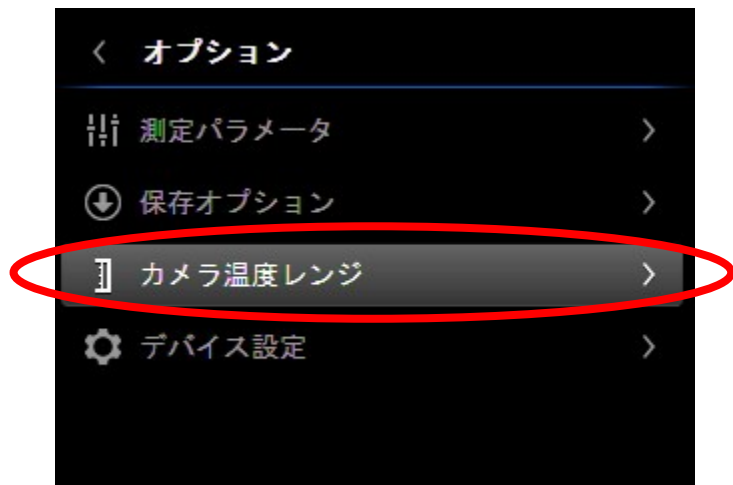
※電源投入時は必ず第1レンジ (-20~250℃) となっています。

測定対象に合わせてレンジの変更を行ってください。

! 温度レンジを超える測定対象の測定は素子を損傷するおそれがあります。



設定メニューを選択します



メニュー【イメージモード】

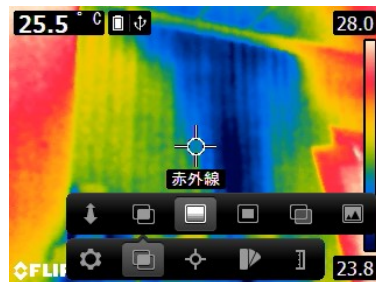
表示する画像の種類を選択します。

MSX 《熱画像にデジタルカメラの輪郭情報を重ね合わせた合成画像》



※ MSX選択時に輪郭がずれて表示される場合は、MSXの距離設定を変更してください

熱画像



可視画像



ブレンド 《熱+可視画像の半透明の合成画像》




ピクチャーinピクチャー 《可視画像の一部領域に熱画像を合成した画像》

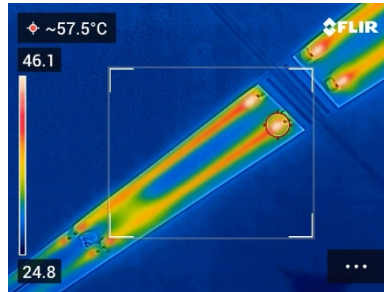





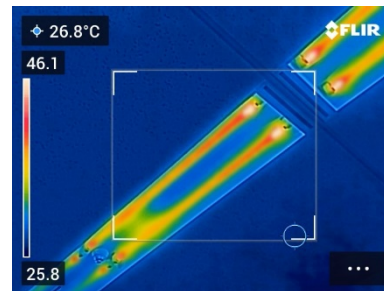
 スポット：ポイントの温度計測



 エリア ホットスポット：エリア内の最高温度点の計測



 エリア コールドスポット：エリア内の最低温度点の計測



熱画像は設定する表示温度幅により色合いが決定されます。
このときの温度幅のことをスパン、幅の中心温度をレベルといいます。

測定環境に応じて、レベルスパンは自動調整/手動調整のいずれかで設定することができます。

* シリーズ内の機種により手動調整の機能が異なります。

- E4A/E5XTは数値固定のみで数値入力は出来ません。
- E6XT/E8XTは任意の数値の入力が可能です。

自動調整

画面に映っている範囲内の最高・最低温度からレベルスパンを自動で調整する。



手動調整 *任意入力はE6XT/E8XTのみ

任意に設定した範囲を固定し、そのスケール内で色合いを調整する。



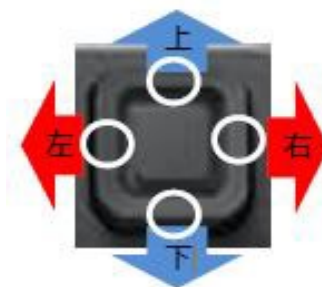
異なる対象物を同じレベルスパンで比較したい場合は、手動でレベルスパンを調整し固定させると比較しやすくなります。

レベルスパンを任意に調整する手動調整方法を説明します。

1. ナビゲーションパッドの中央を押して、[温度スケール] → [手動モード] を選択します。



2. 手動調整は上限温度のみ、下限温度のみ、スパン固定でのスライド調整が可能です。ナビゲーションパッドの上を押すと数値は上に、下を押すと数値は下に変わります。
* E6XT/E8XTのみの機能となります。



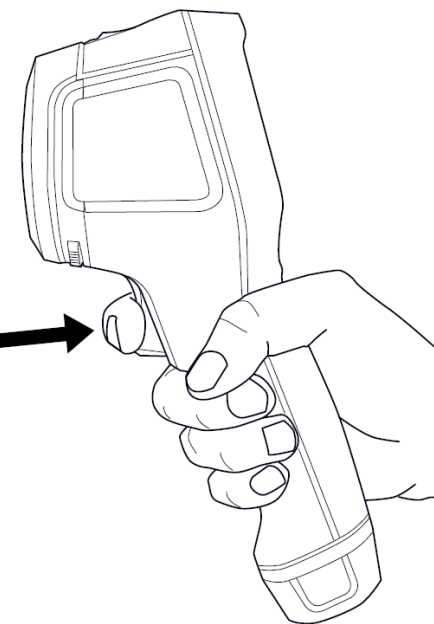
3. 適当な値が表示されたら、ナビゲーションパッドの右か左を押すと、設定した数値が固定されます。

**注意：構図・温度レンジの選択は画像保存後での調整はできませんので、
画像保存前に必ずご確認ください。**

反射の映り込みなどに注意し、トリガーボタンを押込み画像を保存します。

画像アーカイブボタンで保存してある画像を再生できます。

トリガーボタン



画像アーカイブボタン

